

5月13日（月）朝礼にて

クイズです。（14.7m）「何でしょう。」マラソン、津波、……背。近い、一番近かった。何かの背です。何の背でしょう。じゃあ、6年生。そう、大仏の背です。東大寺の大仏の身長です。座っていて14.7mですから、立ったらお台場にあるガンダムくらいになります。そんなに大きなものを752年、今から1259年前に、その時の日本人は造りました。今のガンダムは、クレーンがあったり、パソコンがあったり、いろんなものを使って造るんですけど、その頃は何もありません。何もないけど、力を合わせて造りました。当時は聖武天皇だったんだけど、その頃、国に病気が流行って、「これはいかん、何とかしよう」と思って仏教の力で何とかしようと思って造ったんです。6年生になったらちゃんと習います。

もう一つ。（150cm）これは何でしょう。これも大仏の何かです。そう、大仏が手を開いて前に出しているんですけど、この、手の平の長さです。身長が150cmくらいの人、6年生ぐらいたといえるんじゃないかな。でも、この中には150cmない人がほとんどです。大仏の手よりも小さいんですね。そんな大きな大仏を6年生は見てきました。5年生から1年生までの子も、6年生になったら見に行きますので、楽しみにしててください。

さて、その修学旅行の中で、6年生はルールをしっかり守ってくれました。なので、とても快適に旅行をすることができました。たくさんの子がいるのですから、バスの中は大騒ぎ。ところが、係の子が指示を出すと、ちゃんと静かに聞いて、指示に従うことができます。ご飯を食べるとき、お風呂に入るとき、ものすごい大騒ぎです。でも、決められた時間になるとピシッとけじめを付けて次の活動に移ることができます。

集団行動にルールはつきものです。ルールを守ることができると快適に過ごすことができます。静かに黙々とご飯を食べていても、ちっとも楽しくありません。ルールを守っていなければいけないけれど、きちんとルールを守っているから安心して騒ぐことができます。交通安全教室の時、ほとんどの人はちゃんとやれていたんですけど、やれていない人がいて、しかったです。ルールを守らないと事故に遭うかもしれない。死んでしまうかもしれない。だから、ルールを守らない人を放っておけません。

修学旅行の話にもどります。2日間、一緒にお世話をして下さったガイドさんは、とっても素敵な方でした。ちょうどみんなのお母さんくらいだと思います。そのガイドさんが、「こんなに素晴らしい小学生を見たのは久しぶりだ」とおっしゃっていました。そして、2カ所でこんなお話をされました。清水寺を見学したときに、「とっても明るくて、先生の言うことをきちんと聞くことがで

きますね。」また、最後にバスから降りるとき、校歌をプレゼントすることになったとき、最初は「ええ、そんなの歌いたくない」とか、「ダサイ」とか言っていたのですが、歌うことになって歌い始めると、みんなすごく大きな声で歌うことができました。その時「素晴らしい歌声に鳥肌が立ってきました。」ちょっと言葉の遣い方が間違っているのですが、6年生の立派な姿をほめていただきました。こんな素晴らしい6年生がいる秋竹小学校は素晴らしいと思います。これからもがんばっていきましょう。

2つめのお話です。知らないおじさんが車から「おいで」と声をかけてきます。どうしますか。「ついて行かない」「逃げる」「車から反対の方向に逃げる」みんな正解です。みんな良いことをいってくれました。このことを土日に家の人と話をした人はいますか。少ないですね。今、ほとんどの人が逃げると言ってくれました。正解です。とにかく逃げる。前にも話したと思いますが、戦ってはいけません。変な人と思ったら、とにかく逃げる。ところが、先生みたいな大きな人だったらどうしますか。片手で捕まえて、どこかへ連れて行ってしまふかもしれません。そうなったらおしまいです。逃げられないようにならないためにはどうするのでしょうか。教えてあげます。一人では遊ばないということです。2人とか3人とか大人と一緒にいるとか、一緒にいればそういう変な人は、悪いことをしようとしません。小さい子に声をかけるような大人の方は、大人に相手にされないか、大人が怖いかです。そういう人は、1人だと連れて行こうとするけど、2人とか3人いると「だめだ」と思ってよっていきません。だから、大人もいないところで1人で遊ぶのが危険です。近所の人たちの大部分はだいじょうぶです。でも、変な人がいるかもしれません。そこで安全に生きるための知恵です。遊ぶときは2人以上で遊ぶ、あるいは大人の人についてきてもらうようにして下さい。これでお話を終わります。